

2023年2月24日

－ 学生アルバイトはどう変わったのか、2018・2023年比較－

「1年以内のアルバイト探し経験あり」が26.8%から55.2%大きく増加
「探した仕事」「現在の仕事」いずれもトップはコンビニ・スーパー店員

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の調査研究機関『ジョブズリサーチセンター（JBRC）』（<https://jbrc.recruit.co.jp/>）は、「<学生版> 求職者の動向・意識調査 2023」を2023年1月に実施し、その調査結果をまとめましたのでご報告致します。

■ 調査結果① アルバイト探しは大きく増えたが、アルバイト経験は70.0%から57.4%に減少

2018年の調査結果と比べて、最近1年以内（2022年1月～12月）にアルバイト探しをした学生の割合は、26.8%から55.2%に大きく増加しました。一方で、最近1年以内にアルバイトをした学生は、70.0%から57.4%に約13ポイント減っています。

理由として、2018年は、1年以内にアルバイト探しをしていないが、アルバイトをしていた（それ以前に始めたアルバイトを続けている）学生が47.9%いたのに対し、2023年は14.2%に留まったことが考えられます。コロナ禍でアルバイトを控えていた状況から、この1年でアルバイト探しをする学生が増えた可能性がありそうです。

図1：アルバイト探し経験とアルバイト経験の有無
（上段2023年、下段2018年）

2023年	アルバイト経験あり	アルバイト経験なし	合計
アルバイト探し経験あり	43.2%	12.0%	55.2%
アルバイト探し経験なし	14.2%	30.6%	44.8%
合計	57.4%	42.6%	

2018年	アルバイト経験あり	アルバイト経験なし	合計
アルバイト探し経験あり	22.1%	4.6%	26.8%
アルバイト探し経験なし	47.9%	25.4%	73.2%
合計	70.0%	30.0%	

アルバイト探しに関するコメント

- ・「自宅近くを条件に働いているが、自分がやりたいこと、時給が良いところも探したい」（大学1年生/コンビニ・スーパー店員）
- ・「遊びや趣味のためにお金が必要」（高校3年生/コンビニ・スーパー店員）
- ・「就職活動にあたって、アルバイト経験があったほうが良かった」（大学4年生/その他販売店員）
- ・「将来のための社会経験を積みたい」（高校3年生/調理人、コック）

※括弧内は学校種別・学年、現在のアルバイトの仕事内容

■ 調査結果② 大学生等・高校生ともに、コンビニ・スーパー店員が最多に

1年以内に探した仕事内容（図2）、現在のアルバイトの仕事内容（図3）どちらも、大学生等・高校生ともに、コンビニ・スーパー店員が最多となりました。特に高校生では、1年以内に探した仕事内容では41.7%、現在のアルバイトの仕事内容では25.0%に上り、現在アルバイトをしている高校生の4人に1人がコンビニ・スーパー店員に従事していることが分かりました。

また、コロナ禍で大きな影響を受けた飲食店のホールスタッフは、現在のアルバイトでは全体で2番目、大学生等に限ると、塾講師などに次いで3番目という結果でした。

2023年2月24日

図2：1年以内に探した仕事内容

2023年 全体	大学生等	高校生
1 コンビニ・スーパー店員 …29.2%	1 コンビニ・スーパー店員 …24.2%	1 コンビニ・スーパー店員 …41.7%
2 飲食店のホールスタッフ …22.2%	2 飲食店のホールスタッフ …21.8%	2 ファストフード店店員 …32.0%
3 ファストフード店店員 …19.2%	3 塾講師、家庭教師、採点 …19.5%	3 飲食店のホールスタッフ …23.2%

図3：現在のアルバイトの仕事内容

2023年 全体	大学生等	高校生
1 コンビニ・スーパー店員 …18.4%	1 コンビニ・スーパー店員 …16.9%	1 コンビニ・スーパー店員 …25.0%
2 飲食店のホールスタッフ …14.4%	2 塾講師、家庭教師、採点 …16.8%	・飲食店のホールスタッフ
3 塾講師、家庭教師、採点 …14.0%	3 飲食店のホールスタッフ …14.2%	2 ・ファストフード店店員 …15.7%

■ 調査結果③ アルバイト探しの重視項目で、働く場所が上位に

アルバイト探して重視していた絶対条件では、2018年と変わらず、学業や私生活などとの両立のため、勤務時間帯や勤務日数といった働き方関連に回答が集まりました。今回特に目立ったのは、アルバイトをする場所です。2018年には働き方や給与、仕事内容よりも重視されていなかった、通勤時間（通いやすさ）を絶対条件に挙げた学生が38.6%から57.2%に、勤務地が45.0%から56.7%に大きく伸長しました。

コンビニ・スーパーでアルバイトをする学生が多いのも、コロナ禍でも継続的にアルバイトを募集していたことに加え、比較的営業時間が長く、営業日数が多いため、学生が希望するシフトで働きやすいことや、自宅や学校周辺どこであっても、自分が働きたいエリアに立地している可能性が高く、通勤がネックにならないことが理由として考えられます。

図4：アルバイト探しの重視項目

2023年	2018年
1 勤務時間帯 …60.4%	1 勤務日数（休日、休暇） …54.5%
2 通勤時間（通いやすさ） …57.2%	2 勤務時間帯 …52.7%
3 勤務地 …56.7%	3 給与 …49.5%
4 勤務日数（休日、休暇） …56.3%	4 仕事内容（職種） …48.9%
5 勤務時間数 …51.9%	5 勤務時間数 …47.8%
	…
	6 勤務地 …45.0%
	10 通勤時間（通いやすさ） …38.6%

詳細は[レポート本文](#)をご覧ください。

■ 調査概要

	<学生版> 求職者の動向・意識調査 2023
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> 労働市場における学生アルバイトの就業実態および意識を明らかにする 学生のアルバイトに関する求職実態および意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査
対象者条件	<ul style="list-style-type: none"> 全国 15～29歳の男女 現在の職業が大学院生、大学生、短大生、予備校生、専門学校・各種学校生、高校生のいずれかの人 ※高校生以外を「大学生等」として集計した。
調査期間	2023年1月6日（金）～1月13日（金）
有効回答数	3,000人

※グラフと数表は、集計結果の小数点以下第2位を四捨五入して表示している。

2023年2月24日

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>